

7. 水巻町南部地域の方向性

(1) まちづくりの方向性

これまでの検討を踏まえ、目指すべきまちづくりの方向性（コンセプト）を設定する。

◆まちづくりの方向性◆

コンセプト：日常と異日常が充実するまち『みずまき』

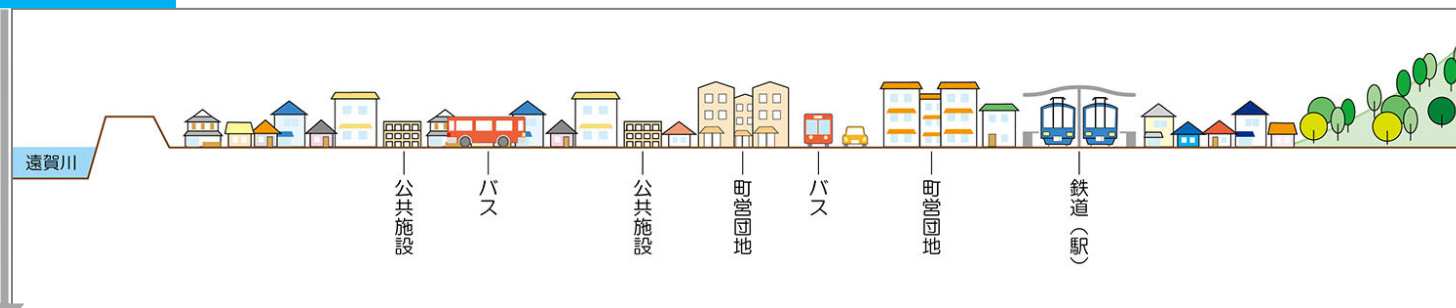
※異日常とは、ごく普通の日常とは少し違うもう一つの日常を指す。

※人の生活において、日常とは異なるもう一つの「異日常」を有することで、幸福度の向上さらには経済の活性化を図る。

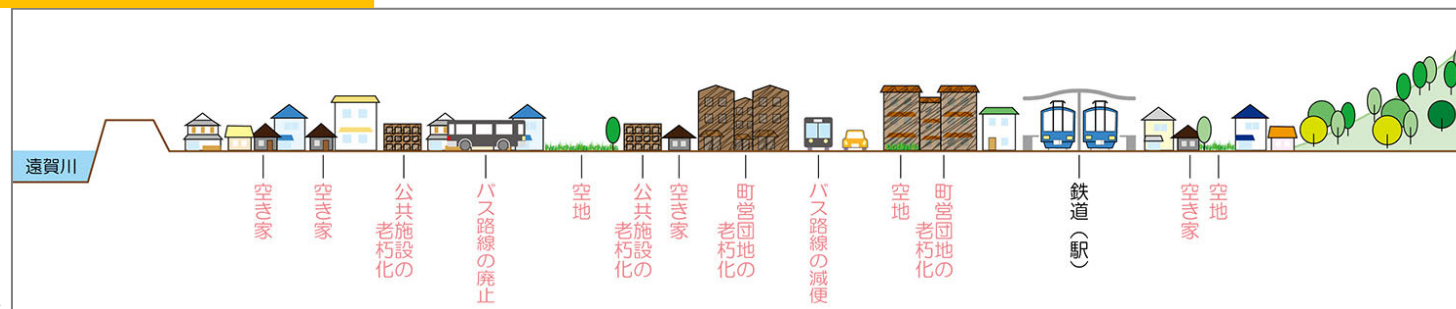
⇒鉄道駅を中心とした拠点形成を図りつつ、日常・異日常が織りなす、多世代の誰もが安心して暮らせるまちを目指す

⇒住みやすさに向けた各種必要機能を導入することで、各世代への恩恵と、それによる多世代循環を創出し、長期的に持続可能なまちを目指す

現況



このままでは・・・



「日常と異日常が織りなす、多世代の人々が、安心して快適に暮らせる」に向けて



▲まちづくりの方向性を踏まえた暮らしの変化イメージ

(2) まちづくりの視点

まちづくりの方向性（コンセプト）を具現化する視点を下記のように整理する。

《まちづくりの視点》

視点①：自家用車に依存しないまち

- ・子育て世代や高齢者等のあらゆる世代に対して、歩いて暮らせるまちづくりを目指す
- ・南部地域の各地区において、公共交通網の形成を図る

視点②：各種の機能を有する利便性の高いまち

- ・南部地域の各地区に対して、各種機能（施設）を適正に配置
- ・必要に応じて、公共交通による各種機能（施設）へのアクセス性を確保

視点③：交流による賑わいあるまち

- ・商業・業務機能の位置づけに加え、各種の文化施設の活用や、祭り・イベント等の実施による賑わいあるまちを目指す
- ・町内だけでなく、町外の人々とともに、交流とふれあいのある空間形成を育む

視点④：安全・安心に暮らせるまち

- ・防災に配慮した水害・地震等、災害に強いまちづくり
- ・身近な犯罪を抑止するよう、市街地類型に対応した防犯まちづくりを推進

視点⑤：まちの玄関口としての魅力の形成

- ・JR 水巻駅・東水巻駅をともに玄関口として位置づけ、駅周辺地区も含めた魅力ある拠点を形成
- ・北九州市（主に八幡西区）等の周辺都市を含む日常生活圏を形成する地域として、JR 東水巻駅の機能強化により、通勤・通学・買い物等の利便性向上を図る
- ・また、JR 東水巻駅周辺への各種機能（施設）の集積を図ることで、町内居住者（ひいては町外居住者も含めて）に対する便利で住みやすいまちを形成

視点⑥：相乗効果によるまちの将来展望

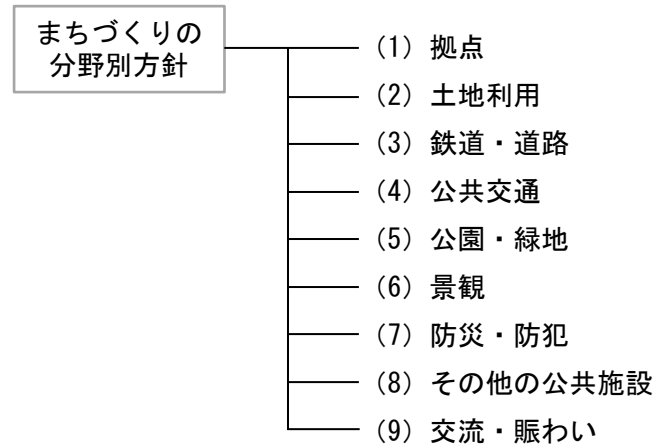
- ・JR 東水巻駅及び周辺地区において、拠点整備による玄関口として機能するまちづくり
- ・その他地区において、人々が安全・安心に暮らせる、生活基盤の整ったまちづくり
- ・JR 東水巻駅周辺地区とその他地区の相乗効果による、南部地域全体としてのさらなる発展を目指す

視点⑦：まちの象徴的な地域資源の継承

- ・遠賀川をはじめ、明神ヶ辻山、豊前坊山、多賀山等の水巻町の象徴的な景観の保全
- ・八剣神社の大イチョウ・堀川の車返しの切貫（ノミ跡）・十字架の塔をはじめ、各地区における神社等の歴史・文化資源の保全

(3) まちづくりの分野別方針

目指すべきまちづくりに向けて、前述の「まちづくりの視点」を考慮しつつ、土地利用・拠点・道路等の下記に示すまちを構成する分野別の方針について整理する。



▲まちづくりの分野別方針の構成

《まちづくりの視点》 ※再掲

- 視点①：自家用車に依存しないまち**
 ・子育て世代や高齢者等のあらゆる世代に対して、歩いて暮らせるまちづくりを目指す
 ・南部地域の各地区において、公共交通網の形成を図る
- 視点②：各種の機能を有する利便性の高いまち**
 ・南部地域の各地区に対して、各種機能（施設）を適正に配置
 ・必要に応じて、公共交通による各種機能（施設）へのアクセス性を確保
- 視点③：交流による賑わいあるまち**
 ・商業・業務機能の位置づけに加え、各種の文化施設の活用や、祭り・イベント等の実施による賑わいあるまちを目指す
 ・町内だけでなく、町外の人々とともに、交流とふれあいのある空間形成を育む
- 視点④：安全・安心に暮らせるまち**
 ・防災に配慮した水害・地震等、災害に強いまちづくり
 ・身近な犯罪を抑止するよう、市街地類型に対応した防犯まちづくりを推進
- 視点⑤：まちの玄関口としての魅力の形成**
 ・JR 水巻駅・東水巻駅をともに玄関口として位置づけ、駅周辺地区も含めた魅力ある拠点を形成
 ・北九州市（主に八幡西区）等の周辺都市を含む日常生活圏を形成する地域として、JR 東水巻駅の機能強化により、通勤・通学・買い物等の利便性向上を図る
 ・また、JR 東水巻駅周辺への各種機能（施設）の集積を図ることで、町内居住者（ひいては町外居住者も含めて）に対する便利で住みやすいまちを形成
- 視点⑥：相乗効果によるまちの将来展望**
 ・JR 東水巻駅及び周辺地区において、拠点整備による玄関口として機能するまちづくり
 ・その他地区において、人々が安全・安心して暮らせる、生活基盤の整ったまちづくり
 ・JR 東水巻駅周辺地区とその他地区の相乗効果による、南部地域全体としてのさらなる発展を目指す
- 視点⑦：まちの象徴的な地域資源の継承**
 ・遠賀川をはじめ、明神ヶ辻山、豊前坊山、多賀山等の水巻町の象徴的な景観の保全
 ・八剱神社の大イチョウ・堀川の車返しの切貫（ノミ跡）・十字架の塔をはじめ、各地区における神社等の歴史・文化資源の保全

《まちづくりの分野別方針》

- (1) 拠点
 ●南部地域における JR 水巻駅・東水巻駅周辺への拠点の位置づけ
 ●JR 水巻駅・東水巻駅周辺における商業・業務・文化等の機能の集積
 ●都市拠点・生活拠点の棲み分けと連携による相乗効果
- (2) 土地利用
 ●JR 水巻駅・東水巻駅周辺における交通結節機能を活かした各種機能の充実
 ●拠点に隣接する利便性の高い住宅の整備・充実
 ●拠点間連携に配慮した一体的・計画的な市街地整備
- (3) 鉄道・道路
 ●周辺都市との広域的アクセス性を確保する鉄道の維持と利便性向上
 ●利便性・安全性に配慮した体系的な道路ネットワークの形成
- (4) 公共交通
 ●南部地域における交通結節点としての機能強化
 ●南部地域に密着したサービスの展開
- (5) 公園・緑地
 ●地域の交流やふれあいを育てる身近な公園整備
 ●まちに潤いを与える緑地の保全
- (6) 景観
 ●水巻らしさを活かした景観の保全
- (7) 防災・防犯
 ●災害発生時を想定した地域防災力の向上
 ●道路や公園等への防犯まちづくりの推進
- (8) その他の公共施設
 ●既存施設等の活用による人々の交流と地域活性化
- (9) 交流・賑わい
 ●祭り・イベント等の実施による賑わいの創出

▲まちづくりの視点（※再掲）から導く分野別方針